

公立大学法人大阪府立大学 過去の評価結果

	評価すべき点	評価にあたっての意見、指摘等								
<p>全体評価</p> <p>全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおりに進捗している</p>	<p>○ 4学域体制への改編という大きな変革を成し遂げつつ、人材育成のさらなる強化に取り組んでいる。</p> <p>○ 地方公共団体が設立する大学においては、高度な教育・研究活動のみならず、地域に貢献する事業の推進や人材の育成が求められるが、諸機関との連携により多くの成果が顕在化していることは評価に値する。今度、さらに教育・研究活動の充実とそれを支える財務の健全化とのバランスを図りつつ、公立大学としてのさらなる使命を果たすことを期待する。</p>	<p>○ グローバルに活躍できる人材が求められている現代において、大学の人材育成機関としての責任は大きく、かつ、大阪府立大学にはその責任を果たす力があると確信している。今後一層大学の国際化に向けた取組みを前進させることが求められる。</p> <p>○ 産業界など社会の要請に応えるポストドクターや博士後期課程学生の人材育成について、今後とも充実・強化していくことが求められる。</p> <p>○ 教員数の縮減は、大学の教育・研究水準や競争力の低下につながるおそれもある。共同・受託研究による資金など、外部資金の獲得を行っていくうえでも、研究水準の低下を生じさせないよう、慎重に対応されたい。なお、学域再編による教育カリキュラムを確実に運営し、大学の教育・研究の推進に支障のないように配慮することも必要である。</p> <p>○ グローバルに活躍する人材の育成には、異文化交流による国際感覚の醸成といった視点を持って、取組みを強化されたい。</p>								
<p>大学の教育研究等の質の向上</p> <p>「計画どおり」進捗していることを確認</p> <p>「地域貢献」及び「国際化」の項目はA評価に該当</p>	<p>○ 平成24年4月から、従来の学部・学科からより幅の広い学域・学類体制への転換を図るため、7学部28学科を4学域13学類へと改編する準備を推進し、短期間で大きな改革を実現した。</p> <p>○ 4学域13学類体制導入のもと能動的な学習姿勢への転換を促すため、学域混合の初年次ゼミナールを本格的に開講。受講生の評価も良好であり、教育改革の取組の一つとして順調に進捗している。</p> <p>○ 民間企業等との共同研究・受託研究を多く行っていることは評価でき、引き続き積極的な取組が望まれる。</p> <p>○ 自治体や企業等諸機関との連携を図りながら、地域に貢献する事業の推進や人材育成についての取組みがなされている。</p>	<p>○ URAセンターの設置に関しては、設置の趣旨が十分に果たされるようその活性化に努めるとともに、活動内容についての情報発信を強化されたい。</p> <p>○ 社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材の育成についての取組みは、まさに大学の重要な役割であり、大学院教育の改革にも取り組み、より一層の充実に努められたい。</p> <p>○ 「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」で採択された取組みにおいて実施した調査結果を活用し、産業界が求める人材を育成するためのカリキュラムの開発など、これからの教育改善・質の向上に資する取組みにつながることを期待したい。</p> <p>○ 大阪府教育センター附属高等学校からの学域への特別入試制度の検討については、同校からの入学実績を考慮し、慎重に対処しつつも、学校協議会への委員派遣や教育支援などの連携をさらに強化することが求められる。</p> <p>○ 国際交流推進体制の充実に向け、全体像を明確にしつつ、さらなる取組みの強化が求められる。</p> <p>○ 各種国家試験にかかる難易度の変動に対応しつつ、合格率向上にむけた継続的な対応を期待する。</p> <p>○ 留学生派遣による国際化の促進について、さらなる対応を期待する。</p>								
<p>業務運営の改善及び効率化</p> <table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>A：計画どおり B：おおむね計画どおり</p>	H23	H24	H25	H26	B	B	A	A	<p>○ 保育施設を開設するなど女性研究者のキャリア形成支援を先進的に行なっている。</p> <p>○ 若手・外国人研究者など多様な優れた人材の確保策や女性研究者のキャリア形成を継続するための支援を行っている。事業の継続的実施が可能となるような制度設計に留意しながら、環境整備のさらなる充実を期待したい。</p>	<p>○ 急速な法人独自職員化への切り替え状況を踏まえ、研修の義務化を図り、体系的な人材育成が図られるよう、より一層の、職員の資質向上・能力開発に取り組まれたい。</p> <p>○ 教員業績評価制度については、各々の専門分野の状況を踏まえた制度の導入がなされているところであるが、教育・研究活動の充実につながるよう、中長期的な視点からも、より適正な制度の検討及び実施に期待する。</p> <p>○ 優れた女性研究者の確保及び育成のため、引き続き、持続性のある女性研究者支援事業の充実を図られたい。</p> <p>○ 効率的な組織運営を図るための教職協働組織の整備や各種監査、検査体制強化など、組織改革やコンプライアンス・リスクマネジメント強化に対する取組みがなされているところであるが、今後も継続した取組みを期待する。</p>
H23	H24	H25	H26							
B	B	A	A							
<p>財務内容の改善</p> <table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>C</td> <td>B</td> </tr> </table> <p>A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている</p>	H23	H24	H25	H26	A	A	C	B	<p>○ 医学部を擁しない大学でありながら、科学研究費について、医学部をもつ同規模大学と遜色がない獲得実績をあげている。</p> <p>○ 自律的な運営の確立に向けて、様々な方法により自己収入の増加に努力している。</p>	<p>○ 教員数の縮減は、大学の教育・研究水準や競争力の低下につながるおそれもある。共同・受託研究による資金など、外部資金の獲得を行っていくうえでも、研究水準の低下を生じさせないよう、慎重に対応されたい。なお、学域再編による教育カリキュラムを確実に運営し、大学の教育・研究の推進に支障のないように配慮することも必要である。</p> <p>○ 基金の効率的な活用等に加えて、大学の有する研究シーズや技術支援等のノウハウを活かしつつ、収益性向上のマインドをもって各種事業の推進にあたるなど、財務基盤の充実に努められたい。</p> <p>○ 施設及び設備の共有や有効活用など、工夫して経費の抑制に努められたい。</p>
H23	H24	H25	H26							
A	A	C	B							
<p>自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供</p> <table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>A：計画どおり</p>	H23	H24	H25	H26	A	A	A	A	<p>○ 「データで見る公立大学法人大阪府立大学」という定量的な現状把握や効果検証が可能となる資料を充実させ、府民向けにわかりやすい情報公開を進めている。</p> <p>○ 「データで見る公立大学法人大阪府立大学」の内容は、充実してきており、今後も幅広く、各方面において活用されることを期待する。</p>	<p>○ 英語版のホームページについて、海外からの留学希望者のニーズに合った情報を掲載し、充実させることが国際化推進の観点からも今後の課題である。</p> <p>○ 受験生やその保護者へ、より具体的で明確な大阪府立大学のアイデンティティが伝わるよう、ホームページをはじめとした情報発信について更なる工夫が求められる。</p> <p>○ 「データ棚卸しWG」については、データ集（「データで見る公立大学法人大阪府立大学」）を活</p>
H23	H24	H25	H26							
A	A	A	A							

		用し、全学を俯瞰しつつ、法人の将来像を見据えた検討をすすめられたい。 ○ 国際的な大学ランキングにおける評価の向上を図るための方策の検討や取組み強化に期待する。								
その他の業務運営 <table border="1" data-bbox="195 222 537 300"> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table> A：計画どおり	H23	H24	H25	H26	A	A	A	A	—	○ 教職員及び学生に対する「メンタルヘルスケア」や「ハラスメント防止」に関する啓発に加え、より効果的な予防措置の検討及び実施に期待する。
H23	H24	H25	H26							
A	A	A	A							